

1 中期計画の全体的な進捗状況

教育に関する目標については、教養教育の初年次教育科目として、学修スキルの修得を目的とした「大学生になる」、自己管理、他者関係の構築を目的とした「大人になる」、学生のキャリア形成を目的とした「社会人になる」、及び研究への興味関心、愛校心の醸成を目的とした「NCU 先端科目」を開講したほか、全学的かつ恒常的に英語をはじめとする語学教育のマネジメントを行う「語学センター」を設置するなど 言学

以上の取組をはじめ、年度計画を全て達成しており、全体としては、中期計画を順調に実施していると認められる。

2 重点項目に対する主な取り組み

(1) 市民の健康と福祉の向上

看護の日フェアにおけるミニ講演会や第19回国際福祉健康産業展(ウェルフェア2016)のウェルフェア健康大学(講演会)のほか、平成27年度の市民公開講座のアンケートにおいて「健康」・「医療」をテーマとした講座に対するニーズが高かったことを受け、市民公開講座に附属病院による病院講座を新設するなど、一般市民向けに講演等を行い、医療に関する生涯学習の機会を提供した。

第二期中期目標

第二期中期計画

計画の進捗状況

(オ) 情報通信技術（ICT）を活用した講義情報の提供など、学習効果を高める教育方法を導入する。

24年度～	26年度～
検討	実施

[6]

イ 大学院教育では、大学院生への研究指導は研究活動の活性化の一環であるとの認識に基づき、高度な専門性と学際的視点を備えた研究者及び職業人を育成する。

(ア) 各研究科の教育内容をさらに体系化するため、教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）を明確にし、教育プログラム策定による専門性・学際性を育む教育を実施

(ケ) 人間文化研究科では、人文社会諸科学の高度な知識と研究能力を涵養する教育、研究指導を行い、生涯発達・次世代育成の支援、協働社会・まちづくり、グローバルな共生など、現代社会の諸問題について指導的な役割を果たすことができる専門能力を養成し、社会的活動を推進する専門的人材や高度専門職業人、研究者を育成する。

24年度~
実施

[30]

(2) 教育環境	(2) 教育環境								
----------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 名古屋市が設置する医療機関を始め、地域の医療機

関等と相互協力関係を強化し、社会貢献としての地域医療の発展に寄与する。また、地域の医療機関と連携し、地域医療の充実を図る。また、地域の医療機関と連携し、地域医療の充実を図る。

4 教職員の大学や社会への貢献を褒賞へ献献やへ 賞 并

自己点検・評価、情報の提供等に関する目標

自己点検・評価、情報の提供等に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 環境問題への理解を深める教育を学生に対して行うとともに、環境に関する学術研究を進める。

24年度
実施

《数値目標》

No	事項	年度	目標	【参考】現状値	24	25	26	27	28	29	グラフ
----	----	----	----	---------	----	----	----	----	----	----	-----

